

# 文教福祉常任委員会活動報告

当委員会は、11月7、8日に福島県須賀川市及び石川町を視察しました。須賀川市では、小中一貫教育について、施設一体型小中一貫教育校である「須賀川市立義務教育学校稲田学園」を視察しました。稲田学園は「連続的で協同的な学びの実現」「不登校といじめ事案の未然防止」「小中学校の教員の指導力の向上」を目標とし、小中一貫教育により小学校・中学校という枠組みではなく、9年間を見通したカリキュラムで質の高い教育が行われていました。

また、「中一ギャップ」（小学校を卒業して中学校へ進学した際、これまでの生活とは異なる環境に順応できなくなること）が見られず、「この学区では不登校の児童生徒が一番少ない」と教育委員会の報告をいただきました。本市のこれからの学校のあり方を検討して行く上で有意義な視察となりました。

石川町では「文教福祉複合施設モトガッコ」を視察しました。この施設は廃校舎をリノベーションし、図書館、公民館、子ども・子育て支援の拠点等として利活用した複合施設で、令和3年度にはグッドデザイン賞を受賞。石川町のまちなか再生行動計画に基づき「欲しい暮らし、自分たちでつくろう」をコンセプトに多くの町民が運営の計画段階から参画し、まさに官民共同の取り組みを行っていました。

文教福祉常任委員会 委員長 福田長弘



文教福祉複合施設モトガッコを見学する委員（福島県石川町）